

②1 テーマ「〇〇を<sup>わす</sup>れない」を<sup>か</sup>書いてみよう！

●大人になってもずっと<sup>わす</sup>れたくない思い出や、  
<sup>ひと</sup>人、<sup>もの</sup>物、<sup>ことば</sup>言葉などについて<sup>か</sup>書いてみよう！

・忘<sup>わす</sup>れたくないこと

※初<sup>はじ</sup>めて逆上<sup>さかあ</sup>がり<sup>うみ</sup>ができたときのこと

※海<sup>うみ</sup>でおぼれそうになっ<sup>たす</sup>て助けられこと

※大<sup>たい</sup>切<sup>せつ</sup>な友<sup>とも</sup>達<sup>だち</sup>

※大<sup>だい</sup>好<sup>す</sup>きな先<sup>せん</sup>生<sup>せい</sup>

※尊<sup>そん</sup>敬<sup>けい</sup>する偉<sup>い</sup>人<sup>じん</sup>

※お別<sup>わか</sup>れした友<sup>とも</sup>達<sup>だち</sup>からの手紙<sup>てがみ</sup>

※感<sup>かん</sup>動<sup>どう</sup>した本<sup>ほん</sup>

※心<sup>こころ</sup>に残<sup>のこ</sup>る歌<sup>うた</sup>

※勇<sup>ゆう</sup>気<sup>き</sup>付<sup>つき</sup>けられ<sup>ことば</sup>た言<sup>ことば</sup>葉<sup>は</sup>

・「忘<sup>わす</sup>れたくないこと」につい<sup>わす</sup>てのエピソード

・どうしてそれを忘<sup>わす</sup>れたくないのか

・ま<sup>ことば</sup>と<sup>ことば</sup>め<sup>ことば</sup>の言<sup>ことば</sup>葉<sup>は</sup>

〇〇〇〇「〇〇を忘れない」

やまだ たろう

山田〇太郎〇

ぼく おとな

わす

おも

○僕が大人になっても忘れられないと思うことは、

ともだち たす

いじめられていた友達を助けてあげられなかった

ことです。

しょうがつこうさんねんせい ころ

なか

ともだち

○小学校三年生の頃、とても仲のいい、友達がい

やす じかん ほうかこ

ぼく

いっしょ

ました。休み時間も放課後も、僕たちはいつも一緒

あそ

なかよ

に遊んだりおしゃべりをして、仲良くしていまし

とき ともだち

ぼく

た。ある時、その友達がいじめにあいました。僕は

こ まも

まも

もちろんその子を守ってあげたい、守らなければ

ぼく じぶん

いけないと思いました。でも、僕は自分までクラ

なか

こわ

なに い

スの中でいじめられるのが怖かったので、何も言

なに

こ

えず、何もできませんでした。そして、その子に

きらわれててしまいました。

ゆうき

たいせつ

いちばん

しんゆう

○勇気がなかったために、大切な一番の親友をな

ぼく たいせつ

まも

ゆうき も

くした僕は、大切なものを守るためには勇気を持

おも

たなければならぬと思いました。そのために、

この嫌いやな思おもい出でをいつまでも忘わすれないで、同おなじよ  
うなことがあおもったら、もおもっと勇ゆう気きを出だせるよう  
におもしたいと思おもいます。

○大おと人なにななったら、勇ゆう気きを出ださなければならない  
時ときがたおもくさんあると思おもいます。そおんな時ときに、言いう  
べべきことこをははつきりと言いい、すするべべきことこから逃に  
げ出ださひとない人ひとにななりたいと思おもいます。